



初島灯台コンテンツツーリズム調査検証プロジェクト（灯台×宝探し）

コンソーシアム名：灯台観光ツーリズムコンテンツ化推進コンソーシアム

対象灯台：初島灯台（静岡県熱海市）

調査検証報告

初島灯台（静岡県熱海市）

「初島灯台コンテンツツーリズム調査検証プロジェクト」

コンソーシアム名

灯台観光ツーリズムコンテンツ化
推進コンソーシアム

構成団体

株式会社JTB、株式会社タカラッシュ

連携団体

熱海市観光経済課農林水産室、燈光会、海上保安庁

1.調査・検証概要

調査検証を構想した背景

- ①初島は年間約22万人が訪れる人気スポットだが、その内、初島灯台に参観している観光客は約2万人と1割程度なことから、初島灯台をテーマとしたイベントコンテンツを開発し灯台参観数を拡大することを目的に、イベントによる実証検証を行い、イベントの効果測定によりその実効性を検証する。
- ②初島には年間を通じ、8月が約3.6万人と最も観光客数が多く、夏休み期間を利用したファミリー層が多く訪れているが、閑散期には、初島内のアクティビティコンテンツは充実しているとは言えず日帰りでも十分に楽しめる灯台をテーマにした観光コンテンツを構築する必要がある。
- ③上記2点を踏まえ、夏休み期間以外の閑散期に「宝探し」イベントの実証検証を行い、参観客数の効果測定によりその実効性を検証する。



2.調査検証の目標～明らかにしたい仮説

仮説のメインテーマ：灯台×宝探しの事業で、灯台を訪れる人を増やす

初島には年間約22万人の観光客が訪れるが、初島灯台の参観者数は約2万人と1割程度のため、島全体を面とした「初島灯台をテーマ」観光誘客コンテンツを開発し、閑散期にファミリー向けに宿泊客や日帰り客でも十分に島内観光を更に楽しめる観光イベントの実施が効果的ではないか？

この仮説から、閑散期に「初島灯台をテーマ」にした「宝探し」イベントによる実証検証を行い、**初島灯台の参観者数の効果測定を行いその実効性を検証する。**

survey 01

初島灯台の基礎調査

基礎データ、設置された経緯、関係者インタビュー、現地調査



survey 02

宝探しイベントの試験実施

10/25~11/3にて開催、参加者アンケート分析





はつしまとうだい
初島灯台

**基礎
データ**



初点灯	1959年（昭和34年）
灯台の高さ	16m
灯りの高さ	14m
灯質	単せん赤緑互光
光達距離	16.5海里（約31km）
レンズ	フレネル型（赤緑2色）
構造	コンクリート造
形状	白色 塔形
設計者	不明（海上保安庁 技術職の可能性）

設置された経緯



関係者インタビュー（抜粋）



初島漁業協同組合
管理課長観光担当
岩本 暁 様



（公社）燈光会
初島支所長
長津 義守 様

【初島灯台が設置された歴史や地盤に基づく経緯】

初島灯台は1959年に静岡県熱海市の初島に設置された。地盤は海底隆起による海成段丘で、約2万年前に形成されたとされる。島の最高地点（海拔約50m）に建てられ、航路標識として相模灘の安全を支えている

【初島灯台の特徴】

のぼれる灯台16基の一つ、灯台資料館併設、国内で唯一の外側螺旋階段灯台、赤と緑の閃光レンズ

初島ご出身の岩本様。幼少の頃より初島灯台をはじめ、島内を走り回っていたそうです。初島灯台のエピソードを尋ねると、初島小・中学校の校歌は、なんと日本を代表する作詞家の阿久悠氏、作曲は三木たかし氏が初島灯台に登り完成させた貴重な逸話でした。校歌の歌詞には、「視界は はるか 三百六十度 地球の丸さを 知る子供たち」

昨年からは初島灯台支所長として灯台資料館及び灯台の参観者の管理に従事した長津様。初島灯台の閃光が、なぜ赤と緑なのか？を質問しました。初島は熱海市内から至近の島であるため、熱海市街の夜景は見事な白色の燈の夜景。その白色の燈に紛れない燈を赤と緑の閃光により、沖合の船舶へ灯台の位置を知らせていたとのこと。納得です。

初島灯台のストーリー

「赤と緑の光が導く、海と人をつなぐ守り神」

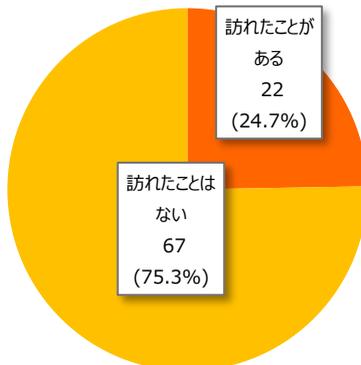
1959年、静岡県熱海市初島に建てられた初島灯台。約2万年前の地層の上、島の最高地点にそびえ、相模灘を赤と緑の閃光で照らし船舶を導いてきました。その光は白い熱海市街の夜景に紛れることなく、海の精霊が宿るかのように静かな安心を届けます。初島小・中学校の校歌「地球の丸さを知る子供たち」は、作詞家阿久悠氏と作曲家三木たかし氏が灯台からの広大な視界にインスピレーションを得て完成させたもの。初島灯台は過去と現在、人と海をつなぐ物語の象徴であり、初島の誇りです。



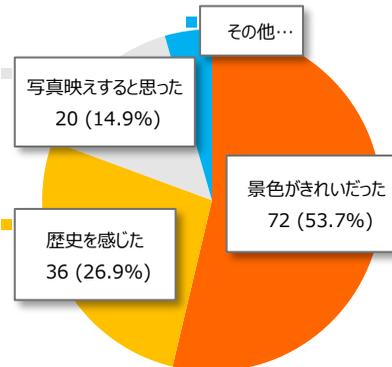
参観者数増加に貢献

イベント期間中の参観数は前年より**144名増加**。宝探しイベントをきっかけに灯台を訪れる人を増やすことができ、コンテンツの有用性が明らかになりました。

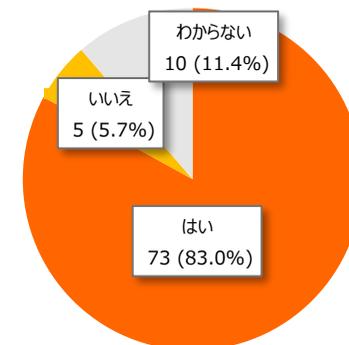
初島灯台来訪経験



初島灯台の感想



初島灯台への興味関心が高まったか



灯台への興味喚起に貢献

参加者の**75%**が本イベントで初めて初島灯台を訪れたと回答している一方で、灯台を訪れた方の**83%以上**が「初島灯台について興味関心が高まった」と回答。コンテンツで足を運ぶ機会を作ることができれば、灯台観光に興味を持つ人は増えることが期待できる結果となった。



おすすめしたくなる灯台

参加者の**92%**が「初島・初島灯台をおすすめしたい」と回答。理由としてアクセスの良さの他に、「のぼれる灯台からの360度眺望」「富士山が美しく見えること」「灯台のライトを入れた写真が撮れること」「歴史や文化に触れられること」が挙げられました。【灯台のレンズ×富士山×●●】を一緒に撮れる撮影スポットとして魅力を発信できます。



首都圏からの日帰り観光

アンケートで東京・神奈川の首都圏エリアからの来訪が多いことが分かりました。新幹線が止まる熱海駅から公共交通機関のみで来訪可能で、日帰り観光や短時間滞在にも適した初島灯台はそのアクセスの良さが魅力となります。灯台に興味はあるけど足がない、という方にこそぴったりの場所としてPRできます。



整備された島内環境

島内全体で道が整備されており徒歩のみで島内の主要観光エリアに行きやすい広さでありながら、のんびりとした雰囲気や、離島ならではの体験を得ることができる初島は、日常からのリフレッシュとして魅力的でファミリーで気軽に楽しめる点が「おすすめしたい」と評価されました。

課題

初島島内の協力者との連携

島内イベントの実施には、島内関係者との連携とコミュニケーションが非常に重要であり、事業内容を直接来島して関係者の方々に丁寧に説明することが肝要。



施策

初島灯台に誘導する導線をゲームを通じて設計する

今回のように、初島灯台を中心に島内全体を周遊させるイベントでは、島内関係者の事業説明用の実施概要書を作成し、直接訪問し説明することで受付場所や宝箱設置において、地権者との交渉等、強力なバックアップを得られます。

課題

初島来島者の動向

観光客の島へのアクセス手段は定期船だが、そのほとんどは午前中に初島港に到着、島内観光をし、昼食を済ませ14:00~15:00前後の船で島を後にすることが明らかになった。午前中に到着する来島者へのイベント告知が重要になります。



施策

下船者に直接参加冊子を配布

来島者へのイベント告知を効果的にPRするために、初島港に午前中に到着する来島者へイベントのMAPやチラシを直接手渡すことで、イベント参加者及び初島灯台の参観者を増やすことが可能。ただし、配布施策には人員確保が必要なため長期的かつ継続的に実施する際は検討が必要です。

課題

初島灯台に関するイベントは天候の影響が大きい

荒天時には船が欠航になることから、イベント期間中の天候が参加人数や体験価値に大きく影響しました。特に首都圏から日帰り観光ができる一方で、当日の天候をみて予定変更をすることができてしまう、という面もありました。



施策

長期での実施／常設コンテンツとして展開

実施期間を延ばすことで、天候が良い時を選んで参加してもらえればと考えています。

課題

灯台への興味関心の継続・再来訪

初島灯台への来訪経験がない参加者が75%を占めたにもかかわらず、イベントをきっかけに初島灯台を訪れた方のうち83%は灯台に興味を持ち、79.8%が「また初島灯台のイベントに参加したい」と回答している。今回灯台に興味を持った参加者が、再来訪したくなる、他の灯台にも訪れたくなる仕掛けが次のステップとして課題となります。



施策

複数灯台をつなぐ施策の検討

アクセスしやすい初島灯台をきっかけに、灯台から灯台をつなぐ複数エリアの宝探しを作ることで灯台への興味を1度で終わらせない再来訪、他の灯台への来訪の仕組みを検討します。

初島灯台を舞台にした「リアル宝探しイベント」初開催！10/25～11/3、ファミリーで楽しむ“宝島体験”がスタート

2025年10月25日(土)～11月3日(月・祝) 9時30分～16時 <熱海市初島/受付場所: シマテラス初島>

ソーシャルアクションネットワーク 2025年10月20日 17時30分

灯台観光ツーリズムコンテンツ化推進コンソーシアムは、2025年10月25日(土)～11月3日(月・祝)に、歴史と文化を学びながら島全体を巡る体験型イベント「リアル宝探し トレジャーマップ～海を見守る精霊を探せ!～」を開催いたします。クリアした方には、クリア賞として「燈の守り人」とコラボした初島灯台オリジナルカードをプレゼント。このイベントは、日本財団『海と日本プロジェクト』の一環として、灯台を中心に地域の海の記憶を掘り起こし、地域と地域、異分野と異業種、日本と世界をつなぎ、新たな海洋体験を創造していく「海と灯台プロジェクト」の助成を受けて実施します。



2025年10月イベントスタート前リリース

初島灯台を舞台にしたリアル宝探しイベント効果検証レポート

— 灯台参観者144名増、参加満足度95%超、再来訪意欲80% —

ソーシャルアクションネットワーク 2026年1月21日 11時30分

灯台観光ツーリズムコンテンツ化推進コンソーシアム(以下、本コンソーシアム)は、2025年10月25日(金)～11月3日(月・祝)の10日間、熱海市初島島内に「初島灯台」をテーマにしたリアル宝探しイベントを実施。初島来島者の10%にとどまっている灯台参観者数増加への有効性を検証、2026年1月20日に検証結果を公表しました。

2. イベント実施内容と工夫

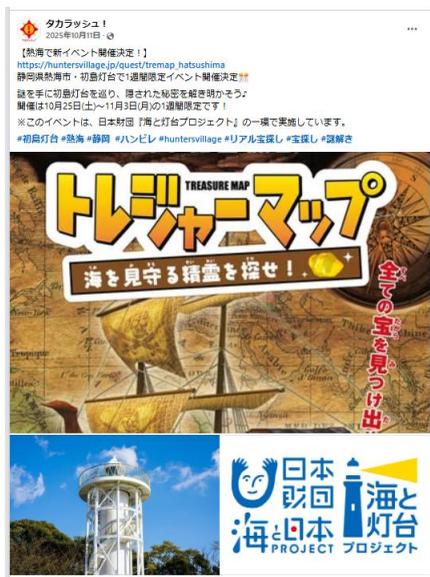
本取り組みは、日本財団「海と日本プロジェクト」の助成を受けて実施

イベント期間中、初島港のシマテラス初島に受付を設け、来島者1,000名に無料の参加冊子(宝の地図)を配布しました。参加者は「遭難しかけた船乗りが灯台の光に導かれて命を救われた」というストーリー(フィクション)と3問の謎を手がかりに島内を周遊し、島内3か所(初木神社・初木公園・初島灯台)に隠された宝箱を探し出します。



2026年1月実証結果のレポート

のべ50媒体以上



調査検証をふまえた 今後の展開案

事業背景1

ポテンシャル

- ①首都圏からの高い集客力
首都圏からアクセスが良くすでに観光需要が高い地域。灯台を起点に周遊企画を展開すれば、さらなる誘客と回遊性向上が期待できます。
- ②自然景観と灯台の独自性
海・火山地形など豊かな自然と灯台の眺望が魅力的な観光資源。ストーリー性ある体験型コンテンツと組み合わせると高い価値を提供できます。
- ③歴史文化と地域活性の可能性
灯台の歴史や地域文化、住民の想いが強いストーリーを形成。宝探しイベントと融合することで地域の魅力発信と活性化に繋がります。

事業背景2

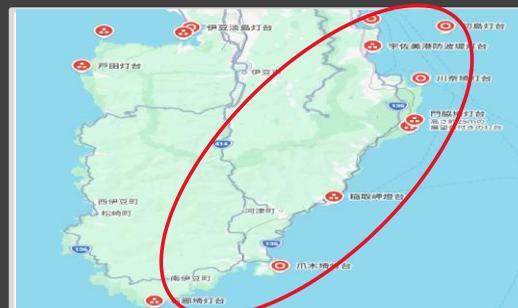
私たちが取り組む理由とねらい

- ①既存観光需要を「灯台観光」へ繋げ、新たな来訪理由を創出する
首都圏から訪れる多くの観光客に、灯台という新しい目的地を提案し、旅の動線を拡張することで、「ついでの観光」から「灯台を主目的に訪れる観光」へと転換することです。
- ②灯台をハブに地域全体の回遊性を高め、滞在価値と経済効果を向上させる
すでに多くの観光客が訪れる地域だからこそ、灯台を中心に周遊企画を設計することで、熱海・伊東・南伊豆の各灯台への回遊を創出し、滞在時間や消費を拡大することが可能となります。
- ③「灯台×宝探し」で新たな伊豆の魅力を発信し、観光の多様化を図る
ただ景色を楽しむだけではなく、宝探しや「燈の守り人」IPコラボ等をフックに季節や天候に左右されにくい新しい観光価値を創造し、既存需要のマンネリ化を防ぐことを目指します。

事業概要

事業名 伊豆半島東部灯台周遊コンテンツ ツーリズム利活用事業

初島灯台での宝探しイベント実証実験で灯台参観者を増やすことの有用性が証明されたことを受け、利活用事業では、首都圏エリアからの観光客をターゲットに観光需要が高い伊豆半島東部エリアを舞台に、魅力ある4つの灯台をタッチポイントにしたストーリー性の高い体験型コンテンツを開発し、灯台から灯台をつなぐ複数エリアでの宝探しイベントを実施します。



事業名：伊豆半島東部灯台周遊コンテンツツーリズム利活用事業



熱源となる人たち (核となる主体者)

(株) JTB

地域活性の中心役として、観光企画の設計・調整・広域連携を担い、灯台周遊事業全体の推進役となる。

(株) タカラッシュ

宝探しコンテンツ開発・制作・PRを担当。体験型コンテンツの企画運営を主導し、魅力的な仕掛けを創出する



熱源を支える人たち (その他の主体者)

地元住民・学校・企業・漁協など

広報・集客・運営補助など地域での協力を担い、地元の想いを反映した事業支援で地域の熱源となる。

灯台周辺の店舗・施設

実店舗活用による観光客のタッチポイントやPRなどで事業に協力し、灯台周遊により生まれる人流増加につながる協力をする

静岡県・熱海市・伊東市・ ・南伊豆町の対象自治体

灯台を地域資源として位置づけ、事業への協力・後押しを行い、地域課題の解決と観光振興を支える。



協力者

海上保安庁

灯台や周辺土地の使用許諾を担当し企画実施のための管理面・安全面での重要な調整役となる

燈光会

のぼれる灯台等の参観データの連携協力や資料館の使用許諾を行い、のぼれる灯台現場での管理支援を通して円滑なイベント運営に協力する

事業名：静岡県東部灯台周遊コンテンツツーリズム利活用事業

新たな灯台利活用モデル事業が定義する「自走化4分類」のうち、本事業は以下を目指します

本事業が 目指す型	分類	自走化の方法	中心となる事業者
	I ビジネス型	灯台および付属施設等をホテルなどに利活用する、 または 灯台および周辺地域の魅力をコンテンツとして利活用することで、 <u>ビジネスとしての収益化を達成し、自走する。</u>	民間事業者
	II 非営利 収支均衡型	灯台及び周辺施設等を活用し、 イベント開催や観光ガイド等を組織しながら、主として、 <u>収支均衡となるような小規模の地域活性化事業を行い、</u> <u>非営利団体として、自走する。</u>	非営利任意団体、 NPO等
✓	III 自治体 補助金型	自治体が主体となり、 新たに地域課題や観光資源の一つとして 灯台及び周辺施設等を位置づけることにより、 <u>自治体の予算やリソースが投入され、自走する。</u>	自治体
✓	IV お祭り協賛型	灯台に係るイベントを開催することで、 灯台を含むエリアの新たな価値と集客・PR効果を創造し、 <u>地元自治体や地域企業からの協賛金や、出店料、</u> <u>参加者から入場料などの</u> <u>イベント収益によって、自走する。</u>	イベント事業者、 放送局

調査検証資料

謎をすべて解き、3つ宝箱を見つけ、報告に来たクリア者数は以下の通りです。
 今回用意した参加冊子1,000部についてはすべて来島者に配布しました。



	男性	女性	子供	合計	天気
10月25日	6	9	2	17	雨
10月26日	7	8	3	18	雨
10月27日	5	6	2	13	晴
10月28日	4	7	2	13	晴
10月29日	5	6	1	12	晴
10月30日	5	7	2	14	晴
10月31日	7	5	1	13	曇
11月1日	24	28	14	66	晴
11月2日	30	35	24	89	晴
11月3日	20	27	12	59	晴

113 138 63 **314**

トレジャーMAP1000部は全て配布完了

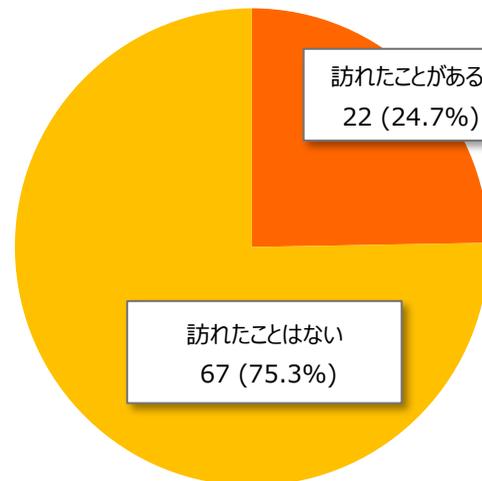
アンケートは93枚回収

イベント期間中の参観数は前年より144名増加しました。

初島灯台 参観数データ	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	合計	前年増減
昨年：2024年	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日	11月1日	11月2日	11月3日	11月4日		
灯台参観数	110	100	16	3	32	52	13	4	174	148	652	
今回：2025年	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日	11月1日	11月2日	11月3日		
灯台参観数	65	45	95	44	46	68	31	91	135	176	796	144



■ 初島灯台来訪経験



クリア者の75.3%が「初島灯台を初めて訪れた」と回答しています。

本企画クリア者を対象に紙面アンケートを実施しました。 回収数は93件です。

【アンケート項目】

性別

年齢

お住まい

Q1 参加人数 「何人で参加されましたか？」

Q2 同伴者属性 「どなたと参加されましたか？」

Q3 認知経路 「このイベントをどこで知りましたか？」

Q4 参加動機 「なぜ参加されましたか？」

Q5 満足度 「満足度はいかがでしたか？」

Q6 謎解き難易度 「難易度はいかがでしたか？」

Q7 価格設定 「もし今回のイベントが有料で販売されていた場合、いくらであれば購入しますか？」

Q8 Q7の価格理由

Q9 来訪経験 「初島灯台に訪れたことはありましたか？」

Q10 初島灯台の感想 「初島灯台について、今回どのような印象を持たれましたか？」

Q11 初島・灯台をおすすめしたいか 「初島、または初島灯台を身近な人におすすめしたくなりましたか？」

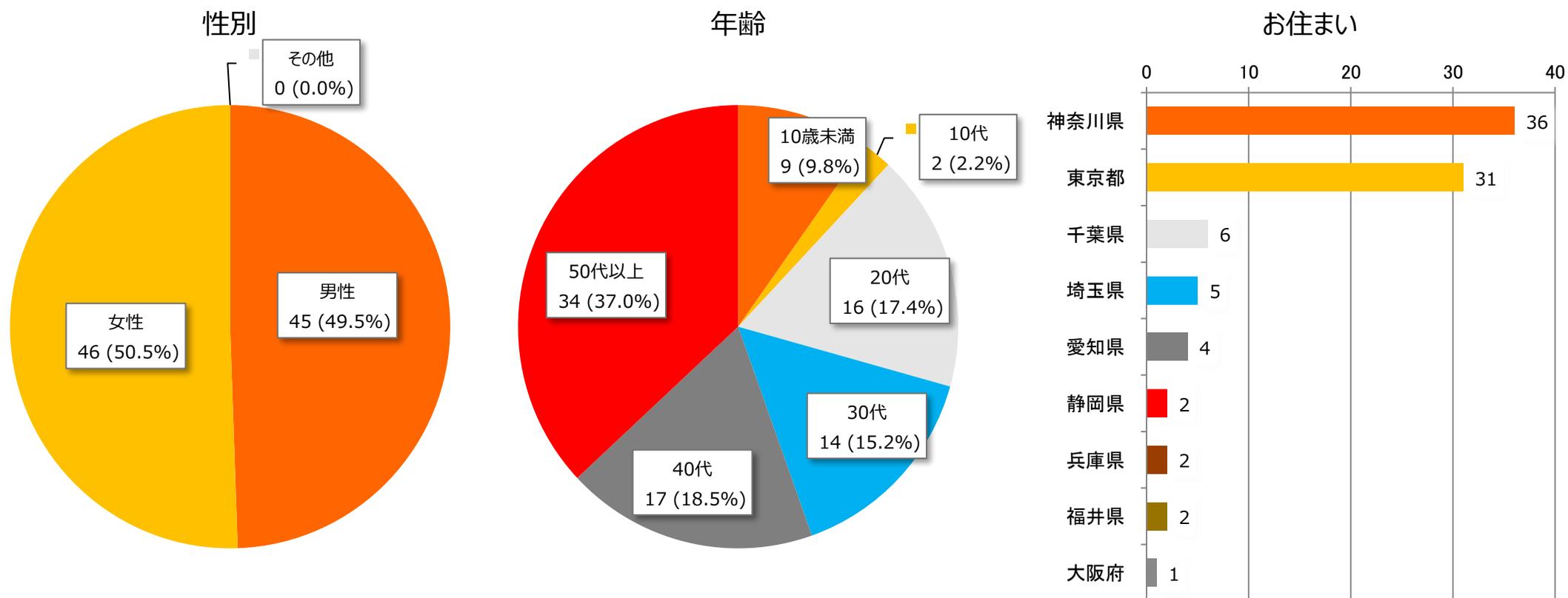
Q12 Q11 「はい」の理由

Q13 初島灯台への興味関心 「今回のイベントを通じて初島灯台への興味関心は高まりましたか？」

Q14 初島謎解きイベント再来訪意欲 「また初島で謎解きイベントが開催されたら参加したいですか？」

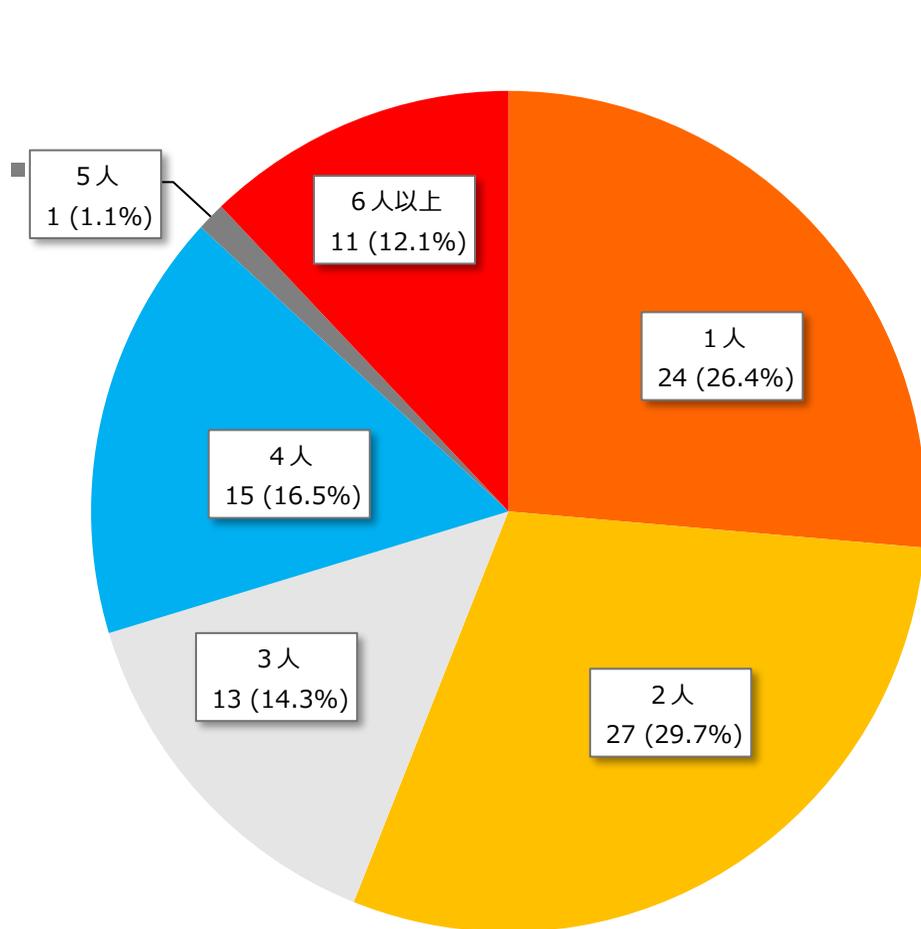
Q15 感想 「ご意見や要望、感想などを自由にご記入ください。」

東京・神奈川の首都圏エリアからの参加が中心でした。
年齢層については50代が最も多く、家族での参加も見受けられました。

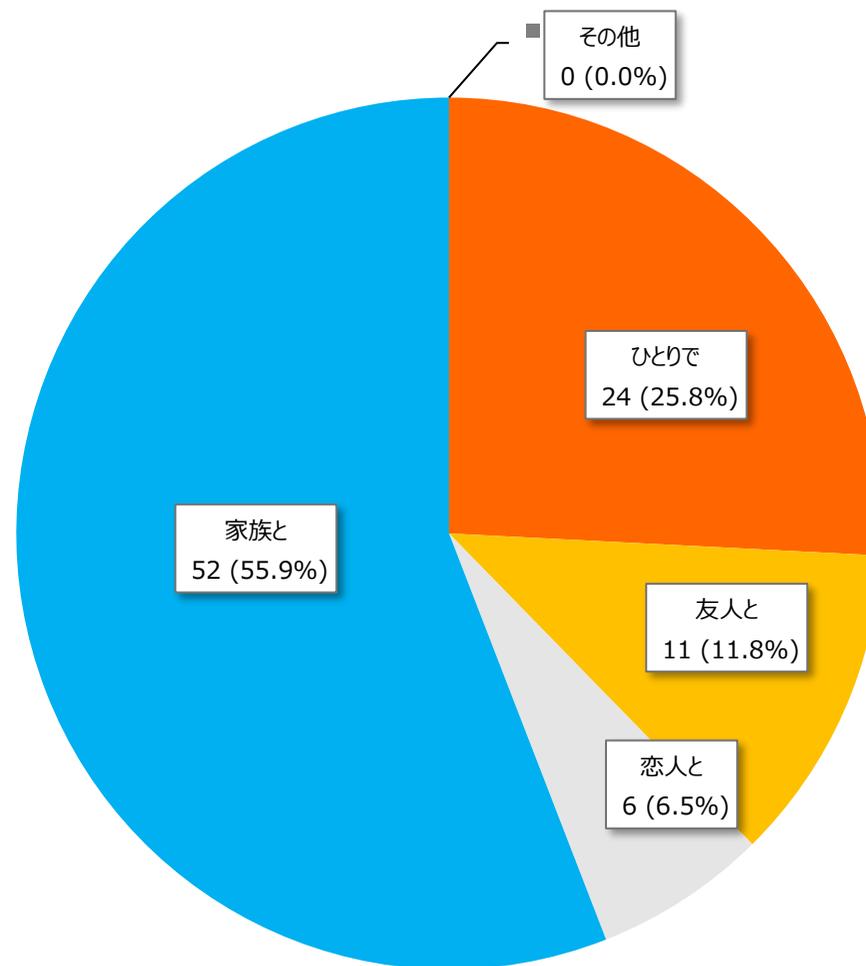


1～2名での参加が全体の50%以上を占めました
半数以上はご家族での参加となりました。

Q1 参加人数

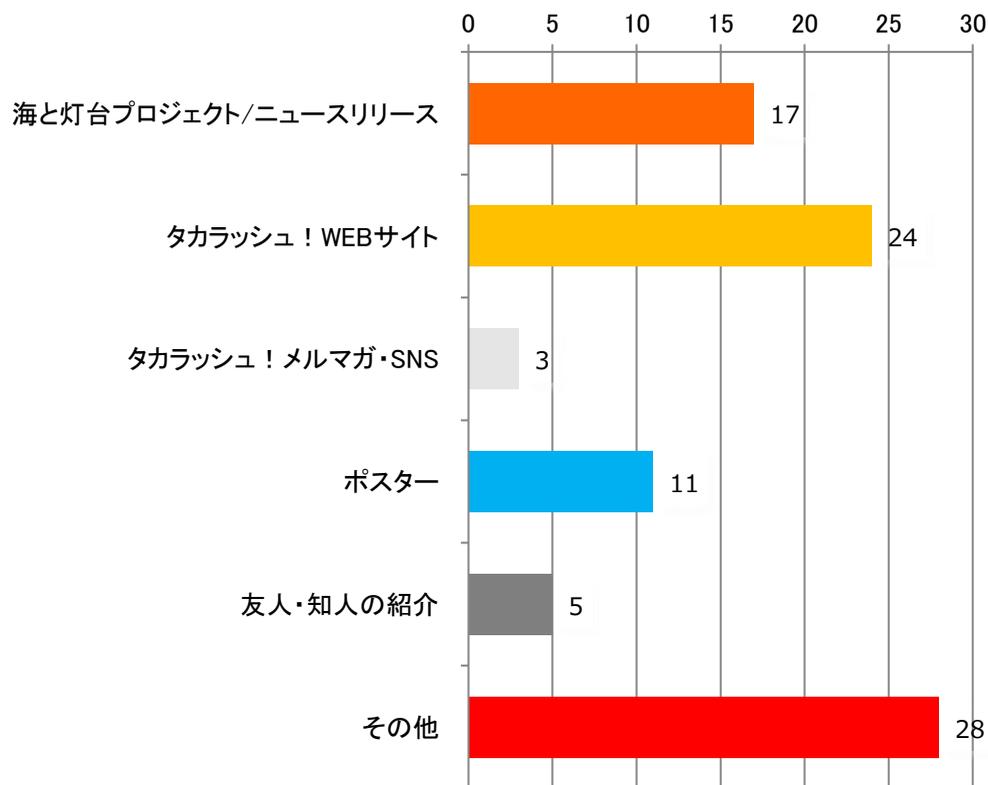


Q2 同伴者属性

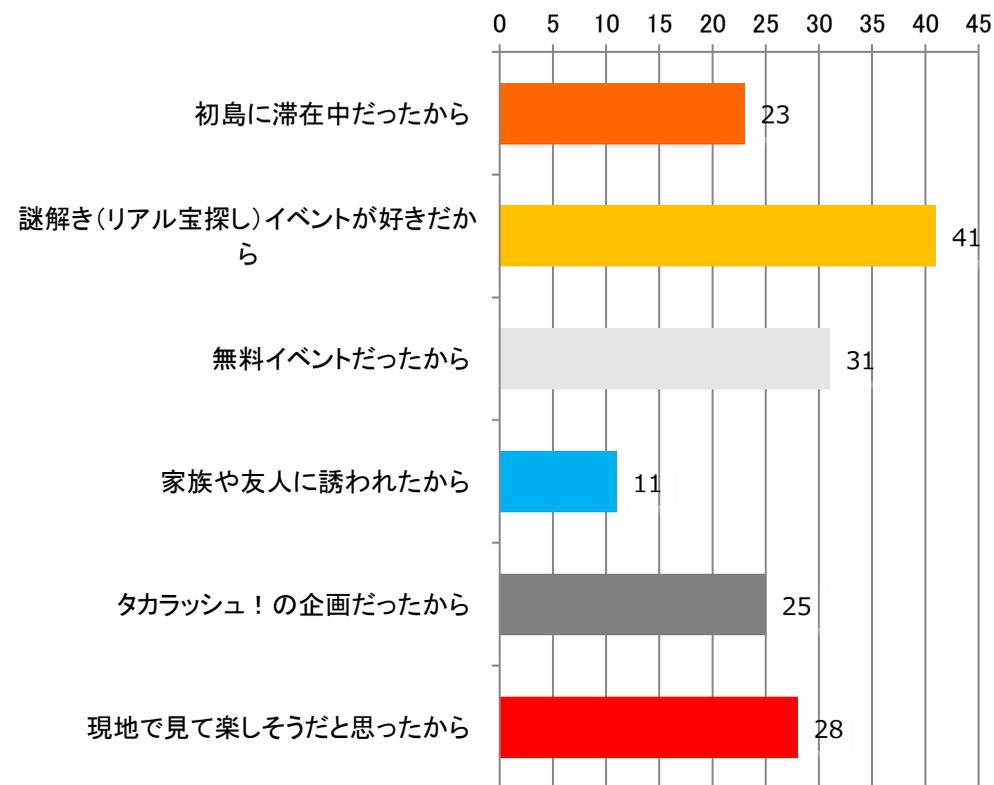


**本企画を目的に初島に来島された方の他に
謎解き・宝探しをフックとして現地で知って参加した方もいました。**

Q3 認知経路



Q4 参加動機

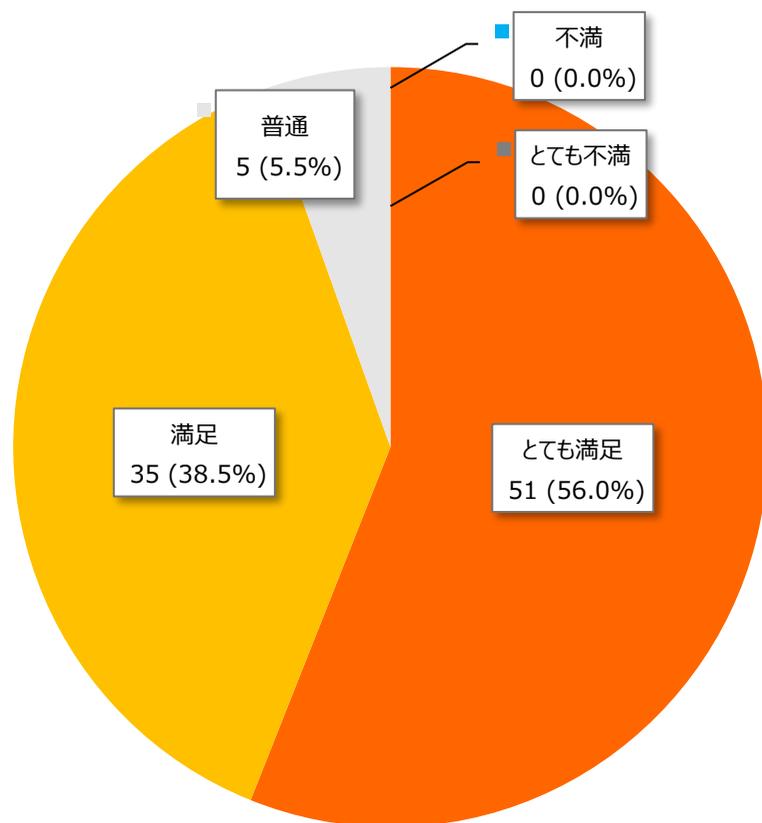


【その他内容】

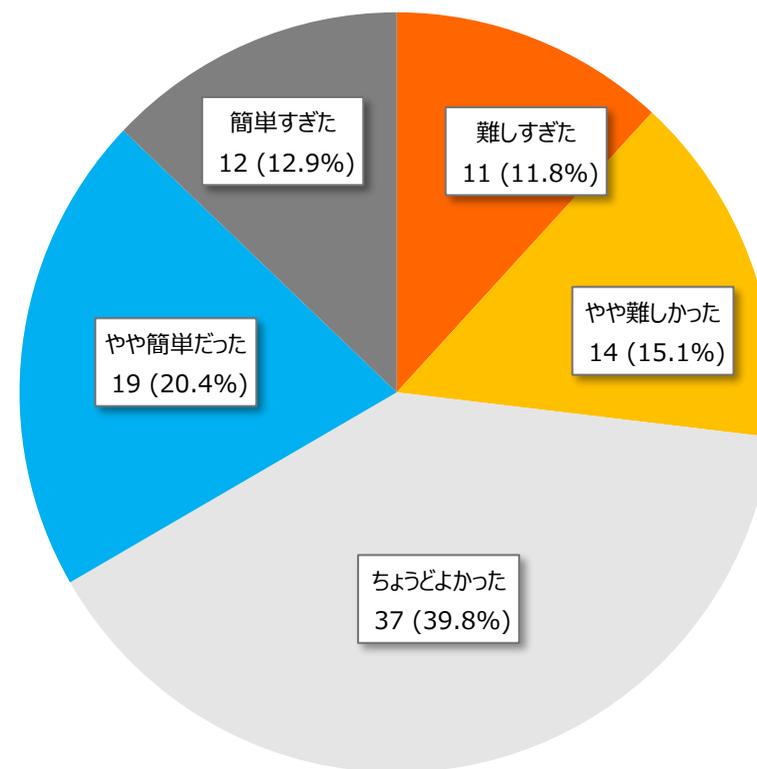
- ・燈の守り人のSNSで見て
- ・たまたま現地で見て
(港でチラシをもらった・参加者を見て)
- ・灯台サミットで見て

参加者満足度は94.5%と多くの方に楽しんでいただくことができました。

Q5 参加者満足度

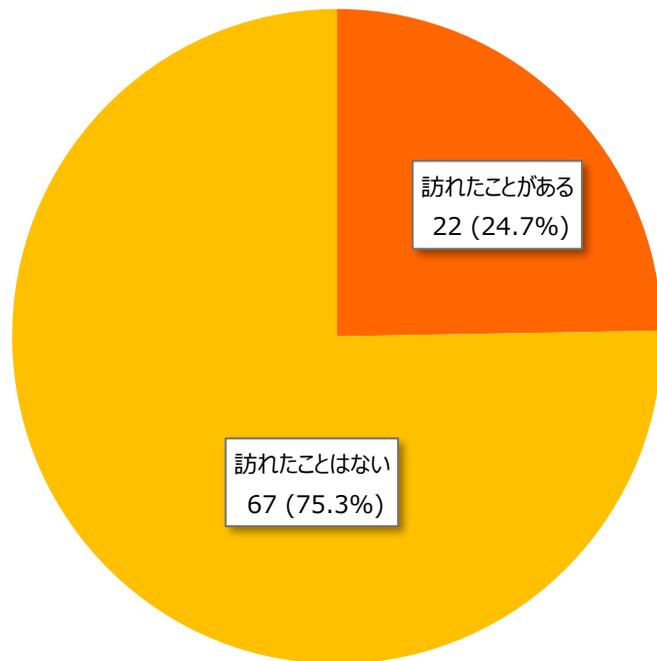


Q6 謎解き難易度

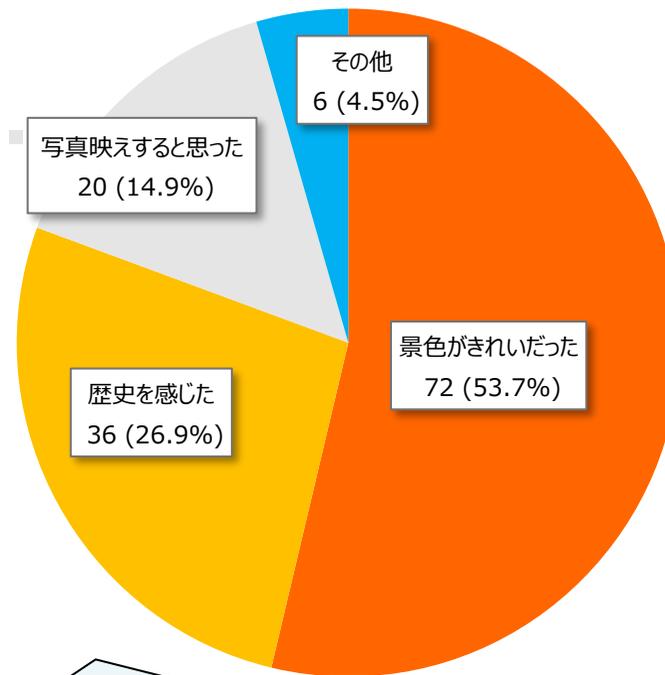


全体の75%が初島灯台に初めて訪れたと回答しており
 本企画を通じて83%の方の初島灯台への興味関心を高めることができた。
 のぼれる灯台ならではの景色・歴史が印象に残ったとの回答が中心となった。

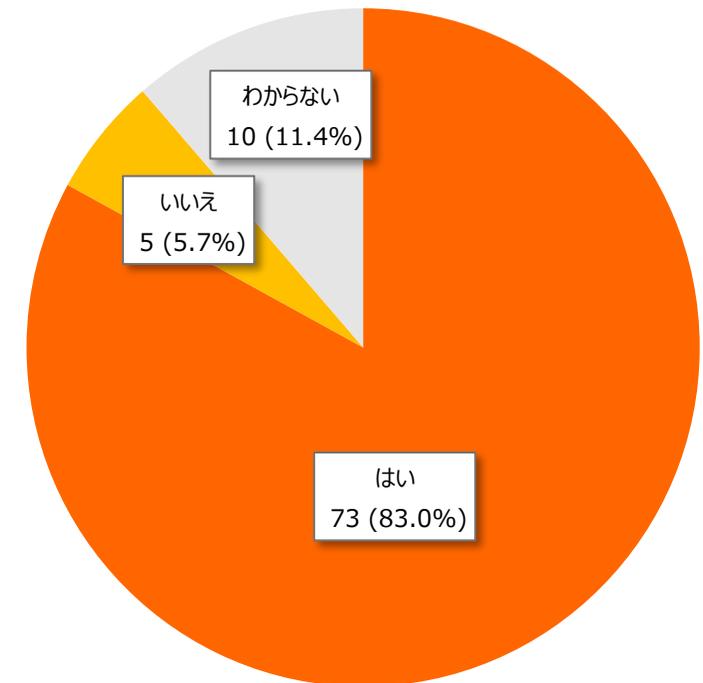
Q9 来訪経験



Q10 初島灯台の感想



Q13 初島灯台への興味関心が高まったか

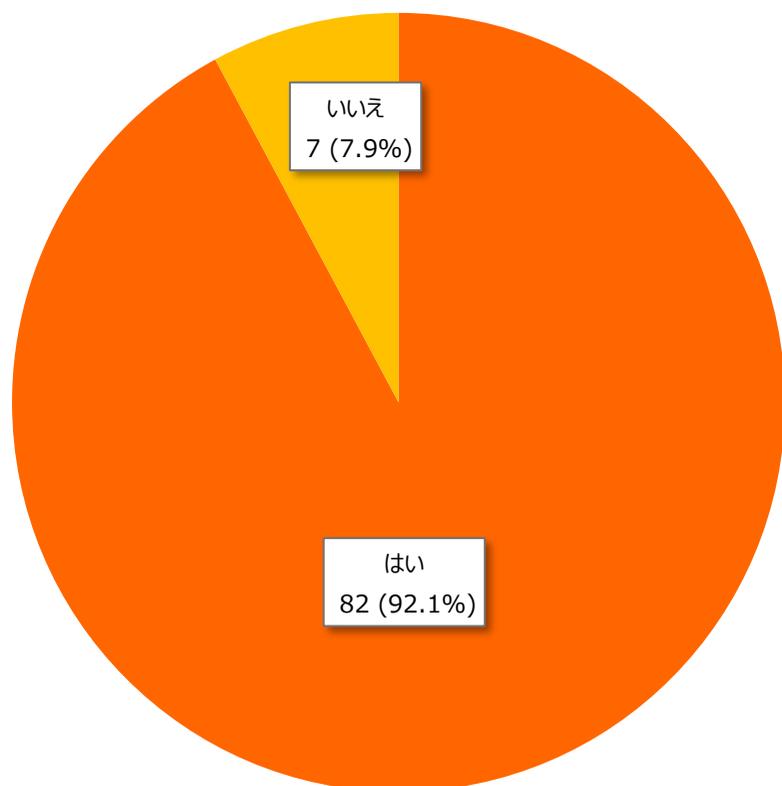


【その他回答】

- ・夜や夕方も見たい
- ・ノスタルジック。景色が良かった。※富士山見えた！！
- ・のぼれる灯台なので嬉しい
- ・近くでレンズが見れたからよかった！！
- ・ビデオが興味深かった。

全体の92%が「初島・初島灯台を身近な人におすすめしたい」と回答しており、
来訪者の満足度の高さが明らかになった。

Q 1 1 初島・灯台をおすすめしたいか



【おすすめしたい理由まとめ】

- ①アクセスの良さ・手軽さ
 - ・都心からのアクセスが容易であり、日帰り旅行や短時間滞在が可能
- ②景観の美しさ
 - ・灯台からの眺めや島の自然環境の美しさが印象に残っている
 - ・特に、360度の海の景色や富士山の眺望が高く評価された
- ③島の雰囲気・体験
 - ・のんびりとした雰囲気や、離島ならではの体験が、日常からのリフレッシュとして魅力的に感じられている
- ④灯台の魅力
 - ・灯台からの特別な眺望体験
 - ・灯台の歴史や文化的な背景に触れられる点
 - ・灯台に関連するイベント、コンテンツの魅力
 - ・灯台そのものの存在、形状、体験の魅力

★初島灯台は、都心からのアクセスの良さ、美しい景観、離島ならではの雰囲気、そして灯台自体の多岐にわたる魅力によって、多くの方に薦めたいと思われていることがわかりました。様々な角度から楽しむことができる点が、多くの人を惹きつけていると考えられます。

「初島・初島灯台を身近な人におすすめしたい」理由として寄せられた具体的コメントを下記に記載します。

1. アクセスの良さ・手軽さ

「都心から近い」「北千住から3時間で着きました。手軽。」「本土から近い島体験」「都内から気軽に離島に来られるため」「ちょうど歩いてよい距離だし都心からもわりと近いゆっくり離島を楽しめる」「小ぢんまりとした島で、日帰り旅行も可能。」「熱海から近いので」「手軽なリゾートとしてすすめたい」「近い離島」

2. 景観の美しさ

「景色が良い」「灯台からのながめがすばらしかった。」「天気良ければながめがすばらしいです。」「せっかく登れるので上まで行って景色を見てほしいと思ったから、富士山も見えました。」「360°の景色」「きれいなけしき！」「海なし県育ちなので、島の360°海が見える景色がとても良かったです。」「ながめがいいので。」「富士山がとても美しい！」「広大な景色だけでも価値ありました」「景色がキレイだったから」（多数）

3. 島の雰囲気・体験

「のんびりした場所」「ゆっくり離島を楽しめる」「いい所だったから。」「島くるめて、遊べるし、熱海市街みたいに混んでいない」「近くて島のふんいきがいい」「居心地が良い。」「のんびりとした空気感がよかった」「時間がゆっくりと流れていたから。」「歩いてみて、環境がよく整った良いところだと思った。」「リラックスできた」

4.1 灯台の眺望の魅力

「灯台からのながめがすばらしかった。」「灯台に登れることと、晴れていれば景色がよさそうなので。」「のぼれる灯台だしめっちゃたのしかったです！」「登れるし景色がよいから」「灯台も景色がよく、登ってみて良かったと思ったため。」「灯台に登り、山の解説を見ながら景色を見るのが楽しい。」

4.2 灯台の歴史・文化的魅力

「灯台の資料館が意外と面白かった。自分が住む地域の灯台のことも知れて面白かった。」「知らなかった灯台のことが知れるので。」「景色がよくて資料館もあって、よく知ることができる。」「ちょうど良いボリューム感で歴史を知れたため他の山が見れてたのしい」

4.3 灯台イベント・コンテンツの魅力

「かわいらしく、宝があったからよけい楽しかった。」「キャラクターとのコラボおもしろかった。」「灯台のキャラクターがおもしろいと思った。」「灯台スタンプラリーをしており、楽しいので」

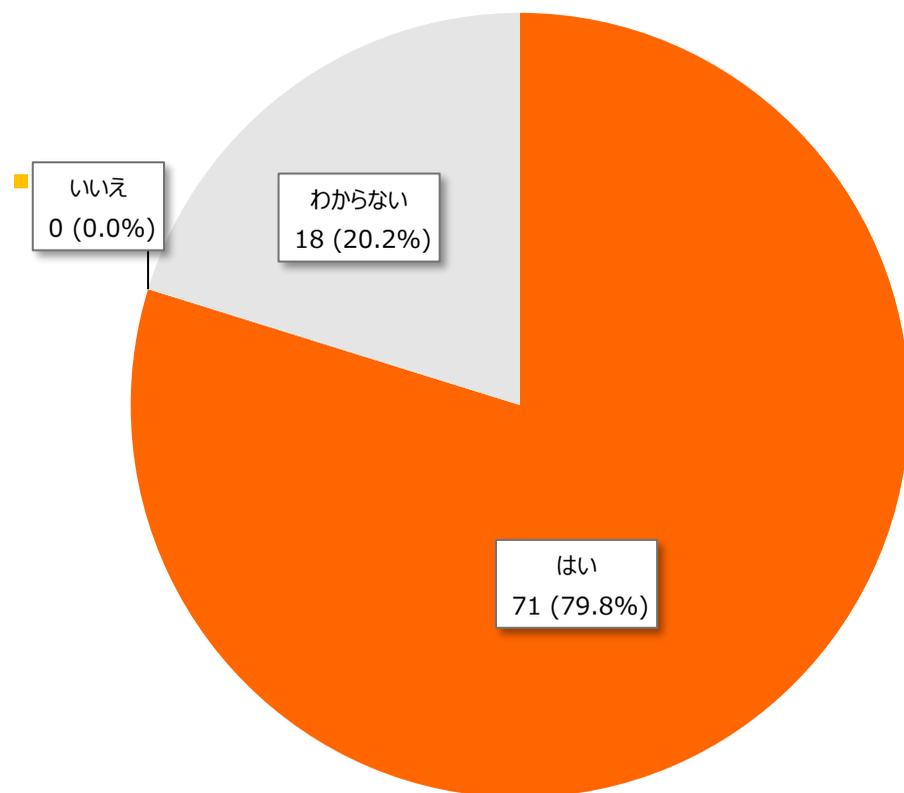
4.4 灯台そのものの魅力

「またライトの部分も入れて写真をとれるので、おしゃれな写真がとれる。」「元々灯台が好きなため」「スリルもあり、自然と感じられ家族で楽しめると思ったから。」

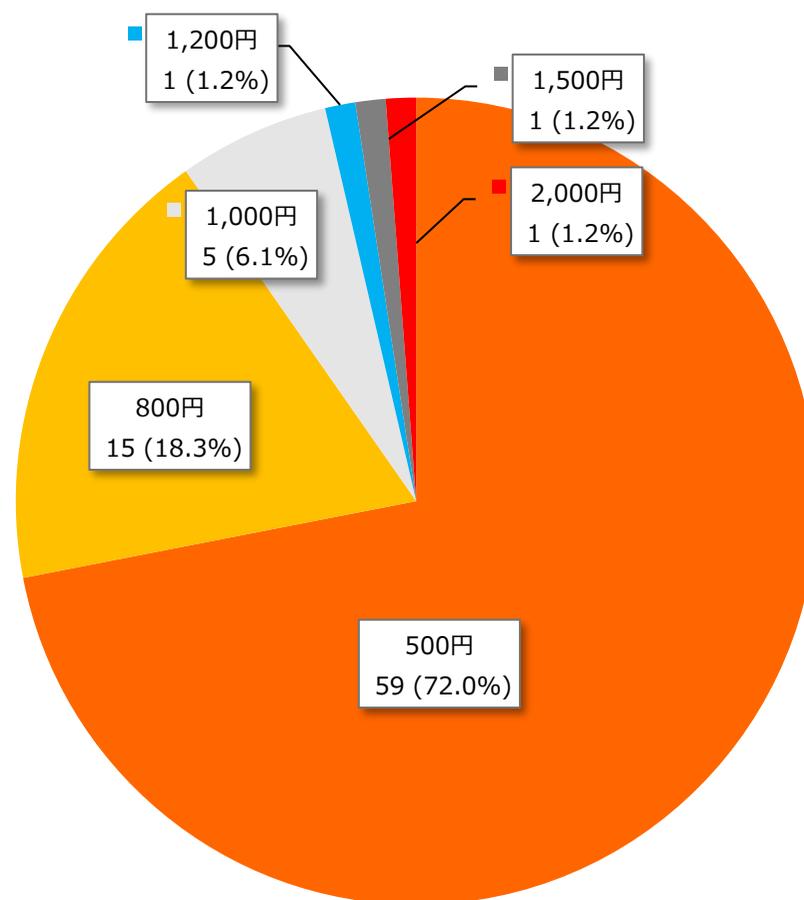
初島灯台謎解き企画への再来訪意欲は全体の79.8%。

有料だった場合の希望価格設定としては500円が最も多く
初島への渡航費（往復2900円）との兼ね合いが理由として挙げられた。
また、クリア後の景品やコンテンツボリュームによる、という声も複数あった。

Q1 4 初島謎解きイベント再来訪意欲



Q7 有料だった場合いくらであれば購入するか



自由記述欄で寄せられた感想を抜粋して報告します。

コメント抽出

無料の謎ときということで、観光のついでに軽く楽しめるもので良かったなと感じました。島の外周以外の道を歩くことになったのも良かったです。このようなきっかけがないと灯台にも登らなかったと思うのでいいイベントだったと思います。

日帰り旅行として最高でした！

適度な時間で、島を周ることができて楽しめました。問題数や、難易度を更にも上げて良さそうな気はします。

天候に左右されるので、ぜひもう少し長い期間開催していただけると旅を計画しやすいです

島ならではのことを楽しみたと思っていたので初木神社などよかったです。

他の伊豆諸島は訪うのが中々難しいですが、初島は割と気楽に来れます。是非シリーズ化を希望します。

船に弱いのでそこだけ難点ですが、また来たいという気持ちはあります。燈の守り人のファンなのでイベントを開催して下さってありがたかったです。

初めての初島でしたが、熱海から思った以上に近く、うみねこ？が後ろをついて飛んでくるのも楽しかった。グランドエクシブもおしゃれだったのでとまりで来るのも良いと思った。とにかく初島灯台すてきでした！謎ときがきっかけで来れてよかったです。

子供の頃に戻ったようで楽しかったです。

今回はあまり天気がよくなかったので灯台からの景色もよく見えなかった。ですが、また晴れた日に来たいと思います

訪れるきっかけになって良いイベントだった。所要時間がちょうど良い。
一方で、島への訪客がゴール（イベント実施の目的）なのか、灯台の認知向上なのかは、ややわかり難かったかもしれません。

久しぶりに初島に来る機会があってよかったです灯台の勉強になりました

あいにくの雨でしたが、初島灯台をはじめ、要所要所の景色が良く、周遊していて楽しかったです。
また、めがね丸さんの食も、イカゲソの肝焼やあしそば、初島のジャガイモやとこつえなど、どれもおいしかったです。
島の湯にも行きましたが、ボイラー故障中とのことだったので、こちらはまた次回伺えればと思っています。素晴らしい企画をありがとうございました。

家族で楽しんで参加できました。イベントによって行く予定のなかった場所にも足を運ぶきっかけとなりました。

もう少し期間が長ければ良いと思う。歩ける距離で、楽しめ、おいしいものも頂きました 楽しかったです！！

■宝の地図 (A4サイズ二つ折り)



■イベントポスター (B2サイズ)



【主催】 灯台観光ツリズムコンテンツ推進コンソーシアム

このイベントは、日本財団 企画・制作 カラッシュ! 海と灯台のツリズム 共同開催しています。 灯台のツリズムは、灯台観光ツリズムの発展を促す。

ストーリー

きみたちは、海に伝わる数々の言い伝えや宝物を追い求めて旅を続けるメンバーの一員だ。
 この初島には、ある言い伝えが残されている。ある嵐の夜、海で遭難しかけた船乗りが、遠くに
 見えた光に導かれ、命を救われた。命からがらたどり着いたその島で、彼は1体の海を見守る
 精霊と出会った。それからというもの、彼の航海には一度として危機が訪れることはなかった。
 これはきっと精霊が授けてくれたご加護なのだ。そう思った船乗りはその後の1959年に、
 精霊への感謝のしるしとして島に16mの塔を建てたのだという。それこそが、今も立ち続ける
 初島灯台。精霊は長年の間、伊豆半島や相模湾を旅する数えきれないほどの船を、塔のどこかに
 宿る海の守り神として導いてきた。さらに、自分たちも精霊のご加護を授かりたいと言い伝えを
 聞きつけた人々も集まり、静岡県でも唯一の有人離島として今もこの島は人々で賑わっている
 というわけだ。だが、最初の船乗り以外に、精霊と出会えた者はおらず、どこに隠れているのかは
 謎のまま。そんな中、我々がリーダーは、精霊の居場所を示す手がかりを発見した。
 かの船乗りが遺したと思われるものだ。それによると、この島には実は精霊が3体存在し、
 それぞれが赤・緑・白の3色の光で人々を導くのだという。
 もしすべての精霊に出会うことができれば、どんなご加護が授けられるのだろうか。
 それは、海を旅するきみたちにとって、何より心強い宝となるに違いない。
 さあ、3つの謎を解き、3体の精霊の居場所に向かおう！



【解説】

四季の名前である、はる なつ あき ふゆ の8文字から、から る な あ ゆふを引きます。

残る文字は「はつき」となり、それが名前に含まれる**初木神社（はつきじんじゃ）**に向かえばよいと分かります。

現地では赤いものを探し、説明看板

↓
4体のお地蔵さん

↓
松の添え木



という位置関係で探すことで、添え木に宝箱を見つけることができます。



【解説】

ストーリーを読むと、
灯台の高さは16m
灯台が作られた年は1959年と書かれています。

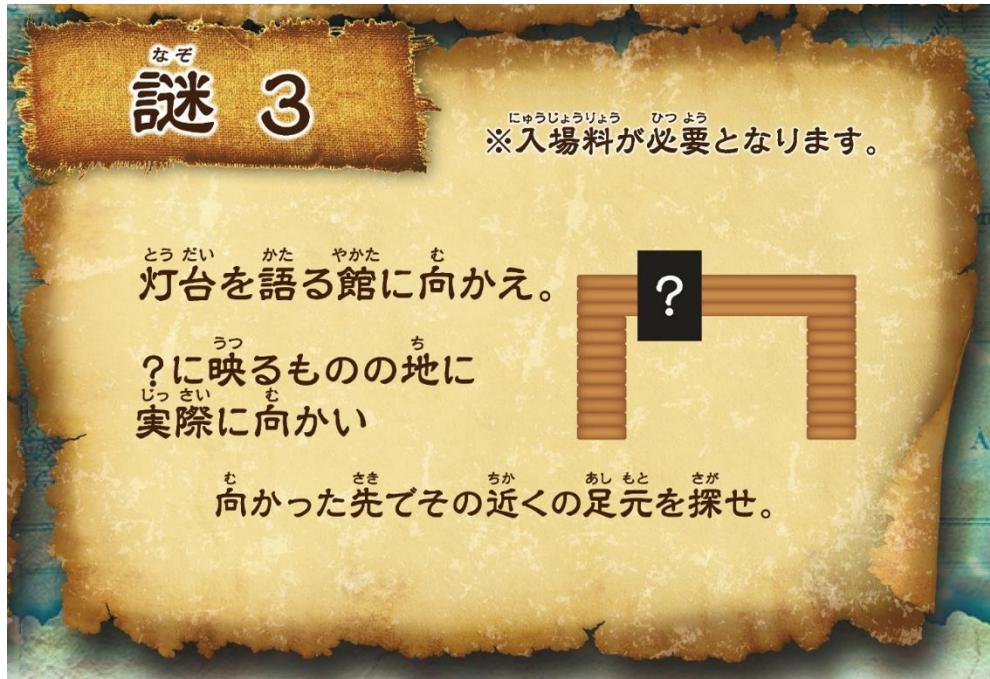
舟の帆に書かれた数字を順番にたどり、
間の島の文字を読むと示す言葉になる。

例えば、スタート→1→6の順に看板の文字を読むと、
例示の「さかな」となります。

スタート→1→9→5→9をたどり、
間の島の看板を読むと

「さねともうたうた（実朝詠う歌）」
となり、源実朝歌碑がある初木公園に向かえばよいと分かります。

実際の歌碑の場所の後ろには青い支柱の東屋があるので、その柱の足元に宝箱があります。



【解説】

灯台について語る館とは、
灯台展示資料館のことを示しています。

資料館の中には、灯台の展示と共に、
梁の部分に灯台の投光器の部分の写真が掲示されています。



実際に投光器の場所に行くために初島灯台に登り、
灯台の頂上で投光器近くにて足元を探すと宝箱を見つけることができます。

■ イベント実施マニュアル
(全16ページ) ※詳細は別紙

■ オリジナル灯台カード
(参加賞)



運営マニュアル初稿

2025.9.24



「燈の守り人」とコラボした
初島灯台オリジナルカード

■ イベントサイト (https://huntersvillage.jp/quest/treemap_hatsushima)



REAL TREASURE HUNTING
リアル宝探し
TREASURE MAP
トレジャーマップ
海を見守る精霊を探せ!

トレジャークエスト リアル宝探し

トレジャーマップ 海を見守る精霊を探せ!

離外周遊型リアル宝探し

<p>開催期間 2025年10月25日(土)～2025年11月03日(月) 発見報告期限は2025年11月03日までです。</p>	<p>参加費用 無料 ※一部の施設では入場料が必要です。</p>
<p>開催エリア・開催場所 静岡県熱海市初島</p>	<p>クエストレベル 難易度 ★★☆☆☆</p>

獲得ハンターポイント 計9point

チャレンジパラメーター

勇 2	体 2	知 2	調 1	役 0
-----	-----	-----	-----	-----

■宝箱 (3か所)

①初木神社



②初島公園



③初島灯台

